

不適合情報

2021年2月5日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	タービン建屋1階(管理区域)南側壁面から水の浸入および水溜まり(約300cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2021/02/02	
2	5号機	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器(A)1次入口弁の計装用圧縮空気分岐箱内の小弁に、微少な空気漏れを確認した。当該弁を交換。	2021/02/02	
3	6号機	原子炉建屋地下2階(管理区域)で作業に従事していた協力企業作業員が、溶接機のスイッチを投入したところγ線用警報付ポケット線量計が鳴動した。ただちに管理区域から退域し放射線量を確認したところ、γ線0.01mSv、β線0.2mSvであった。作業エリアの線量率は最大0.001mSv/h未満であり、溶接機のスイッチ投入と同時に鳴動していることから、線量計の異常と判断。作業場所の線量測定および同一作業員の線量計計測値から、当該作業員の線量を0.00mSv未満と評価。当該線量計を点検・修理。	2021/02/01	
4	6号機	原子炉補機冷却海水系ポンプの起動試験において、原子炉補機冷却海水系ポンプ(E)を停止した際、吐出圧力計に指示不良を確認した。当該計器を点検・修理。	2021/02/02	
5	7号機	タービン建屋地下1階(非管理区域)原子炉補機冷却系(B)熱交換器室の蛍光灯(1箇所)が破損していることを確認した。当該蛍光灯を交換。	2021/01/28	
6	7号機	原子炉建屋北側ブローアウトパネル開放装置の試験時、ワイヤーロープの先端ソケットが屋上基礎部の石膏ボードに接触し、損傷させたことを確認した。当該ボードを交換。	2021/01/31	